政府支出を抑制

節約に開し小倉藏相談話

激は一般會計において八

労務、資金などの諸動員針 げ閣議で決定した、そ

九戦島は大武戦に降つてゐる、

勃、ソ衝突不可避か

勃軍大學學院化上說

1二億二三百二十

隊銃關機獨るせび浴を射猛に軍赤

殿冬將軍」も期待薄し

英光江新切實

限制無 援請の時即

四ヶ月目を迎へた、蜿蜒二千単に圏ソ戦は二十二日をもつて逐に第

ニュー ヨーク二十三日 同盟】

全線で交戦器

長期戰化必至點

及ふ戦線は益々その激烈の度

へついあり、備ソ雨軍共に

真心を

ペンに託

7

池 蒋

!

著 寬

ソ聯大使、英京で演説

四路、六二

九三十二五

續けてゐる 一類に進出、小賴に自我が再度の大鐵槌に早くも 反撃の威力を失ひ敗退を一氣に東方へ壓迫しつゝあるが、敵は我が再度の大鐵槌に早くも 反撃の威力を失ひ敗退を一氣に東方へ壓迫しつゝあるが、敵は我が再度の大鐵槌に早くも 反撃の威力を失ひ敗退をが開刊極東南地區に進出、小賴に自我が兩進部隊の後方を 連斷せんとの態勢を示し來つれ、の關門を持ち、

友軍連繋に成功、破竹の猛進、現代間の日本田園と開

大の衝撃を興へてをり、桂林來電

日御南、廣西および湖南、

は遊越、原緬南ル

といはれるが 関部湖南防衛に關し協議中であ

空省はもとより歴東、隣西に多

が部隊の大敗は湖

【香港廿二日同題】形南作戦にお | 出動せしむることになり、匿也

廣東側 湖南 心援軍

2、1912年第万山田地郷に韓田する第四十一、第四十四東師の暖醸に對しば攻を加へこれを翻破、秋深さ帯南

2の要離雅江市附近で友重の友成、有馬、職級騰野隊との沿水河戦附近において粉碎したのち、二十四日一際に西田

五十八師は總指揮藤岳の徹底的抗戦命令によつで第五十九、六十兩師【中支〇〇二十四日同盟』 楊林街、關王橋の線において皇軍精鋭により

制して一月度の大鐵能職線

敵算を亂して敗走中

との私・Aラインといふのとの概を採りあげてゐる

4・ラインで一段落つける

政府發表、本年と見て古田神疾に近れる政権と大年度「戦闘計れた特別農計職(明年度職職職を終じ)の砂純節約總額は十三億二千萬國に達してゐるを行った職勢大職省原案通り正式決定、左の近く本年度「戦闘計れなど 各特別費託修正影響を養養した。これによるとを行った職勢大職省原案通り正式決定、左の近く本年度「戦闘計れなど、各特別費託修正影響を養養した。これによると

家をもって最大の鄭潔素禅につとむるとともに今後とも 時間の概移に即勝し 「獣獣動脈紋の質をあぐるものとす(賦堂干側)がにその部級 および館域の優分はこれを削差の通りとす、賦る名物は地下における 政府支出のきはめて回議なるに戦み部に

を行った総撃大蔵省原来通り正式決定の懸片は開催において小意識相より『昭和十六年の懸片は開催において小意識相より『昭和十六年度像蔵の郡紋に關しては

純節約額は十三億

會計人億三千 計十四億餘

入契約を結んだ、同機は目下アメ機能にある。

一館及びマツクアーサー・アメ

【マニラ廿四日同盟】ケソン大統 に最近崩滅地區には人家たされ

韶劇に
器つて
居住して
るた
各特領 削縄要地の間守を厳命すると

料、食棚町、化棚品などの貨物が一般されて海外に輸出され、電気体

出版

四百萬ドルに達する双葉中型機能 リカ航空機銀作會社と網額

B廿五歳競のもので、いつれも職一につき脳瀬中であるが、一部衛報一地に引返すやう命令したといはれてら協物の職務方を命令したリカ 健康態となってゐる 同社戦 (極楽東司令官は均勝跡神の強化策)に對し、17十一日までに至意原駐「のと見られ、解政撤職は診

反抗戰合分

イン イン 一能ツ嗽をどこまで 手物す作歌であらうか

注く河口アルハンゲルスク 注と開方ヴォルカ河が裏海 に注く要港アストラハン港 とを結ぶ線でA・Aライン たを結ぶ線でA・Aライン

など何れもA・Aライン

女性が如何に統後で活躍してゐしてもソ職にしても戦ふ國家の 既の如きは態長その他銃後の撃っかは人の知る通りである。墨 優別、伊太利は

が論、英國に 起て、半島婦人 通してゐるのは女性である。 器工場の産業戦士として送った

半島の過去におけ

った今日、年島婦人の歌唐は上

外國はかりではない。日本內地依つて護られてゐるのである。 週、交化の凡ゆる部門が女件に 的勞務は勿論のこと、生産、交

十六年度豫算節約

---閣議決定

勢務の譲撃が東亞共榮駿陣設

は一家を構成すっための氏房の とのため、時勢を織り目らこ

が一際に男子を扶けて起っといが一際に男子を扶けて起っとい 力の劣性を相望考慮に容れてし あるる 言ふ恋もなく人時の半分は帰 學ら確定に行はれてゐるか否 七割は増掘し得るものと考へられる。而して斯く職じる場合、おれる。而して斯く職じる場合、 ある生産力の振光、その他國語 半鳥婦人が真に緊醒して起つと

跳起を促すべきだし、同時に干 政者は官しく施策を論じてその

人は今こそ―朝鮮婦人

赤墈埠奪取、附近掃蕩中

亞の鄭望として要調せられ、同として、その産業的養暖は全東

て國民野祭に起つべきである。

蘭印、空軍を擴充

要地固守を嚴命

狼狽の敵 緊急軍事會議

→四日午前開業四南方廿十十二日子前開業四南方廿十二日子前開業の南方廿十二日

米から爆撃機購入

スール人由「おした」 「『藤東千四日回国」習問よりの信」を、藤産集、三母・お山、割開の歌風は飛行艦員の手で太平津樹、すべき剛器によればわが頭の西ジュートは歌が歌歌術と先帯後と歌歌は北れる 「作戦に解釈」と高麗歌戦司令部は、ルートは歌が歌歌術と新像と『歌楽年三母・お山、割開のまた。『春年 11日 | 11日

動と見られる、たどしな師兵

ことは、離し、半島の資命する一が完成し、近く召集令が簽令せら

カ極東軍への職人は兵舎その他の

非占領地への

殿、さらに反轉して南土圧而

三日も全線にわた 電響吹、また飛行 を観吹、また飛行

島崎藤村

全作名代三

の素質がよくないのでその呼吸管、をもつて九月十五日は後上後より、手による郷米市その他あらゆる職がよくないのでその呼吸管、をもつて九月十五日は後上後より、目による郷米市その他あらゆる職れない。

部では、世二百番勝級性務司の名とれたよって中五日以後は華人の部では、世二百番勝級性務司の名とれたよって中五日以後は華人の 移出を禁止

國府總税務司から布告 手による織糸布その他あらゆる部

張夏大佐以下

更迭

刊 國 工 集 斯 四 图 工 集 斯 四 图 不 田 獨 步 集 野 日

内容見本迎呈

一/三通照版本日市京東 目文 第三〇八〇一京東著語 餘惠 房書出河 皇書

○○部隊に歸順

嗅敵を
 急追(輪線)

(留文敷線音鑑河畔にて二十四上回歴】祭』、総木、北線の冬。三七書鑑司北岸の長沙を「離木むいとまもなく避路の総総を纏行、11千四日・電響三時十七分系動・単(新書西南方大十キロ)に突入これを終取附近一帯を揺ぶ中である 長一名、降椒長二名の販死を視めりつざけられてゐたが、敵は大麻 以來松尾、能勢、蘇脇各部隊によ (州間) 西側に幅居する敵第六十 れてゐたが、離は大隊 图】繁煌狰彰主曜の略上六使 問題』海杭線(上海 | その他武器多数を構べてわが○○

十五日左の近く変令される 十五日左の近く変令される 東郷局郎長(煙 山田藩之助 草華栗郎長)

残敵潰走

る三十一日熈機二、小鉄五五四、八十四名(中將校八十九名)は去 同重御形態を長張夏大佐以下七百を難けてきた厳第八十九軍の一部 島戦器方面において共産軍と相

後任に山田 氏は今回歌迷し日戦の原郷後に献 氏は今回歌迷し日戦の原郷後に献 では後で回歌迷し日戦の原郷後に献

杭線西側の

ロ、陳八林を贈目とする同地方の土肥へを多數を捨て徹起した、また深野部一便

百を殲滅三

· 最后長

われら如何に生べき長耳國漂流記大江賢次著《こくの子・三十十十世本著《こくの子・三十十七年

本のであらうか。これは後年製な國家主義者となって、新世界文學全集自我を選順し自我護押に徹してとそ頃に自我を超え梅伊、武彦深自我を選順し自我護押に徹してとそ頃に自我を超え梅伊、武彦深自我を選順し自我護押にである。 横1・1100円名

山東中部の 國中のパーペン駐トルコ獨大使 駐土獨大使歸任

一掃、廿四日早朝

山西方に蘇那を包織した各部隊は「上海廿四日同盟」山東衛中部腰 各所に絶大なる戦鬼を収めつゝあ一府首職者と

ハルに 盟出した、 同大便は削縄 製品設築はるカザ

靜

雄著(遺稿) [最新刊]

and white

|別田郎のため東上中(貯録頭取)全國貯

(6) 陳定解級總裁) 東上中

を開びれるので、組合 水月から悪類 た陽に順氏、

るが、どうやら目

百曹の結成やらに

青年を変し青年を変重する國は偉大なる湯米を約束されてゐる。青年とそは 近 五 〇 頁 三國八十 智 送 ・ 三 送 ・ 三 一

タキトウス著 鞍場田中秀央・泉井久之助共譯

版ゲルマーフ語

シュブランガー著 土井竹治譯

以持人獨先國民生活指導 尾高豐作譯編 ー三七京東省後) 憂河 隷 属 田 神市 京 乳 書 江 刀 書

定價一個五十錢

最新刊 天誅組罷通る B 6 判·三三三四員

⑥三九三京東西県・川石小京東 版社談講會辯雄本日大

丸善**アナナン**キ

ATTENA

| 「東京産託」 生系の製米輸出停止 | 「東京産託」 生系の製米輸出停止

酒類統制再强化

十一月一日から實施か

る十一月一日より新機構によ

鮮銀勞急膨脹

年末七億圓に肉薄か

對米輸出の 生糸減産

來月一日から實施か一

鐵銅回收と長期戦

る 昨年アメリカがസ嘘の輸出を「における罷嫌だけでも大した撃艦」訳の現ひも戒然にあるのである。間晩を覧すべき歌兮が変視され、れが利用されてあたから、家庭内、摩に勢れない。就来の耽遠觀機能開助員法にもとづいて罷締の職。の不認無限でには、殊陸ない寝て、長期戦に入る事は悪濶であるとの興助員法にもとづいて罷締の職。の不認無限でには、殊陸ない寝て、長期戦に入る事は悪濶であるとの

田祥男

東洋文 香港の世格

岩長橋湯野藤朝樸

次定長

愛問事京城支

が任命された式目的で大阪支店

豫定工事結氷期迄に完了か

丁月號

一定 円價

國民勞務手帳法

備洲國農業改善 作物を増收

▼世界再編成と日本・平 貞 敷・國民消費生活の再建・木村順八郎・マヴェルサイュ體制論・蠍山 政道

歐洲大學支那事

2 年曾県設リングへ金建成製四級

無代點

层层

丕 襲 と 建 築…屋町昌一 アメリカ暦日県台開金…編輯部 平和手段の限界…川田秀脇

文相と現實…正宗白鳥映画國家管理維持秀夫 八紘の基件線北原白秋 私の 綴 方 東原井原水 三浦梅園……三枝博青戲曲砂 の 上久保田万太郎 三浦梅園……三枝博青戲曲砂 の 上久保田万太郎 で 襲 と 建 築…星野昌」小説見えざるもの阿部知二 座 襲 と 建 築…星野昌」小説見えざるもの阿部知二

中 **夏**岩倉政治

火花散る熱戦譜

· 子乃四二秒六) 2、福縣 (高須姆、荒井通難

全國的行事は政府が主催

體育會でも臨戦態勢

神畅(神奈川)3、宮崎代藤一(大阪)一分六秒

―明治神宮水上大会終る―

第二日は昨日に引願させ三」さらに名古島東邦職衆生徒せ名に思い、神宮郡の敬奉大曹水一派行、水上職職などが献せられ、

拳闘界の登龍門

第三回新人アマチユア戦

打月號

職·業·野·球 方貸●方借

培材中學

・(側川)

擾

大新明正道 新好玩美郎 正道 新好玩美郎

夕刊後の市況 ・ 一扇灌生系後傷太引 ・ 一扇灌生系後傷太引 ・ 一扇灌生系後傷太引 ・ 一扇灌生系後傷太引

思想報國。道・田邊元

飲い場できた松本書 船番 炭質

▶日本風景論("哦)

▼小さんの對談(旅離)

ンニ論ニ民

土建工事は順調に進捗勤勞報國運動が徹底し

なら以のは十四歳以上六十歳未 なら以のは十四歳以上六十歳未 のの男子で「楽、錦山寒、土木 原の男子で「楽、路山寒、土木 原の男子で「楽、路山寒、土木 「日東楽」でが明音域は号勢 著と通信事業のが明音域は号勢 者として世界されてるきもので されたの「祖李県山平に佛から とれたの「祖李県山平に佛から

日米經濟外交籍・蘆野弘 ▶増稅問題の理論・高木器一

今日の發言者

林勞務課長朝鮮の領職 りよくないといふのが一

礼則を 變つよ

眞木職紹所長の叫び

験全職問題生れ大郎市老虎囃八七一から紅投襲章下賜の光祭に浴した一であるが、春世に踏る京城出

時間別に除外

但し勅使供進使參向の時のみ

「防空演習時」と「秋祭」

て治安は鎌立し栗煌草の増取も器 の概ありとして在戦撃に恵去感分るしく九ヶ所に戦合作和戦合曹都 に鑑した 萬圓のラヂウ

古き祖則は冷

半島よくさらば

命生國

女師で『質驗ご講演』

傑

時局選本・陣中秋だより・今日の發明

切讀

けふの天氣

いけないといくことを聞いてをりしいをことは半盛の下製史におけるして、

エボックを配するものだと思ふ

X



アリング製作所 回之出べ 朝鲜營業所

完城府明治町二丁国 電話本記 ○ 2622·2855 清津、咸嶼、大阪、東東



with Millian

ELECTION

水清之层、松浦泉市 青春競步 同信株式會形成的學典學學學學學學

皇軍慰問公

九月二十 八日

H

會

日本新聞協へ

九月二十 -L H 1

隨入 意院 電話龍山二六番

記事。取扮《表現

胃腸 病

南鮮合同電氣株式會

建築法規

の解散者である。 (照解市価) 解説 (地解音) 解説 である。建築設計者はも

に関係するに関係に対するに関係に対した。 大法全書 大法全書

の大任全書である。日刷部数 の大任全書である。日刷部数 の大任全書である。日刷部数

寫眞帳謹作 關西行啓記念

皆勞に起つ老

典子女王と御命名

地米、外米、押麥は別配給

役立てんなしいりと口呼

などの酸酸を加へることになった

親交のあった結井勝西郎

寄贈者に光榮の紺綬褒章下賜 病死せる父の遺志で城大へ……

言を科學する

珍しやカラ松に質りの秋 へられてゐるテウセンカラ

本町署の森山

共に朝鮮の労働力の質は国めには内地人の職工でも非常な熟練

| 派練も非常に要る仕事であります

も明鋭の影動力は影的にとうも、一つてあれだけの機能を駐立てたとして手、洗宣傳部長、質は、それを総統の年齢人機上だけを使

指導方法如何では

質的にも飛躍

伸手洗宣傳部長 今の

来してゐる店もあって、審意員

世號 月

作。**越中創棄記**。 屬本 (鍵(かき)河内仙介 北洋の兄弟『端

_田

馬競城京

made was in the description of

支店及出現所

意ですべと郷後婦人の表心からか人達は魔話を智慧した感激と山本のなが、これら素智婦

習得した國語で

線~慰問文

講習生の美はしい企て

塵埃の街を無くさう

塵埃の街。威激後日譚

汗する憲兵。

面目にかけてもと

育】一等金田墓吉、二等 雌、三等三浦忠雄【未教 等有木聲、二等中島登、 田寶

足の臨戦、に垂範

消火用ボンプ寄附

街の護

英麗が結ぶ隣組の絆

櫻ケ丘に明朗愛國班

製力 11 ※ 12 では、いっかり、 13 では、いっかり、 13 では、いっかり、 13 では、 2 では、いっかり、 15 では、 2 では、いっかり、 15 では、 15

を消したので前居る名士の関係

の球臓をしたのち 常電行 事に入

赤誠の蓖麻栽培

身を以つて實踐の張切り方

のが六国、蝦長宅のお庭には何時も脱跡で難。電力切れが小山と植も脱跡で難。電力切れが小山と植

原益々皇國自民の際ひを聞め

割増金崩徴兵保険の提供精算拠式

カメラ中芸族、買人 內田寫眞機店

小林蕉郎

商本5364







パ・安産

長服・収養に経験ある者 無所内本町 ちょうちゃ 本田



三應 料 位 安(科拉住建下,地面)

示日实内

五一覧と

順の

山田 雅蘭 | 〇二十

地山用麻袋 對造 貿易 東京城 植南町 十二 東京城 植南町 十二 東京城 植南町 十二

順

タイピスト募集 「日本等業業ではたった。 「日本等業業では、 「日本等業を、 「日本等業を、 「日本等業では、 「日本等を、 「日本等を 「 「 「 「 「 「 「 「 川 二十三日一二二十八日 狂亂の娘藝人新留書 陽氣な幽靈、穏ッ郡

www to 安田

紙東側とい

実

京日交化映画 **(()**

タルく網帯がはの音響な 新 装 完 備 近 日 開* 館 御棚部くださいませ 機だ・力だ、棚が棚 廿五日より一日まで、極週木曜日暮、 典祭育體の紀聖 (第六) 篇季秋篇季夏 み恩の陽・戦艦のイバボ スーユニ本日・祭 遊 田

美容助手五、六名聚集

東京美容院

特别案内

タルく御時かねの哲像と 新 装 完 備 近 日 開* 館 御明部くださいませ 郷だ、力だ、機力報

歌 A P

チ自

第四年加三七 有 光 後側知せの方には極調を呈ス 光 を求む但し四十圓前

女命
十八歳より十四五歳
位で記載、生べ向れにても「本人
位で記載、生べ向れにても「本人
のかど天朝親部
みかど天朝親部 定 教師に雇れたし 東小爆校教員 東小爆校教員 東小爆校教員 東宝 日活日活日活日活日活日活日 喜樂舘

崔 在 程 潔

峰医

學家

◇ 素 | 六 | 厄 +八日ョリニ十五日マデ 縱脈。如此,也以一點, 新聞數女性開眼

利

過は、おうやうな笑顔になり

京ではいるなどでは二種の有 いった。

旅館明東旧 **冥基川白**山經 充义四三(3)話電

融

温職

幽靈 水藝師 東西学園語の 東西学園語の 東西学園語の 東西学園語の 大文 化十九日コリ 一十五日コリ 一十五日コリ 一十五日コリ

*點。包圍戰近~終了

一種向してドニエ

ではないかとみられてゐる、なほ へる戦闘力を失ってあるから、モ

開軍のの職務十三日回盟」署徽 展・投行、顕出・二天などの各点 | 会談に帰近する町合州」・日州二に沿つて町下中の各部隊に呼鳴 | 際は京徽の山道を東議、廿三日州 | 各師が廣談しつが午後王郎寺蔵台 | 田代、江口、震域建を京城した | 三種類(年江西方十キロ)で古刻 | 合語が廣談してが午後王郎寺蔵台 | 東山の | 南城 | 西、山の | 西、 三角塘、更鼓台を占領 **鞭解版出を遂げつとあり、今や昆沙の耐衛戦地はわか脈炎の前に前層に載しつつあるが、魏征順働し天然の関密に加って賦所にベトン式トーテカが衝勢された一大統領戦地であるが、魏に助て更先動戦を戦命し、これに九十九、卅七、 廿六年取の所六個冊を磨壊中といはれる、**

敵本據湘陰に迫る

一萬五千袋の鼠

『教養台にでは三日同題』わかり、が有井、内野、坂本、正八十百号。 山港(高郷海南カナキョンの郷地)の本機、湘陰の内に迫った。 サーゴ 日東朝北水県城に織田したわ、湘城町(日紫海東南土)キョン郷、東京 は 神経に ひょう は 一緒 関の (日本) 「東京 大田 (日本) 「東京 (日本) 「日本) 「東京 (日本) 「東京 (日本

大統領中立法の改訂。言明

ž

レオンは、既れ寝み前(反省の時間)にするのが本営だと思います。

をやつす様ではお洒落になります。

それからお顔を磨く様

よ顔

號すでに武装

朝から既まで、も化粧にばかり浮身けれど、それにも程度があります。的情操の發露と云ふのでせう。 たいのが人情です。つまり豊かな美味り心と云ふより、お顔を先に磨き 大切なのは心の美醜で と云ふ位は、百も承知の苦なのに、 矢

類なんか後ら綺麗だつてダメノ

米海軍の實力

敵廿六軍を猛追

金井を完全占領

中のものとなり目下一

全面的に發動せん

商工省、鑛山開發に萬全を期す

側ぶらつて黄山機様化敏酸に第一であつたが許長の原炎などにより ・ 大の歌音動のため十六年修育第六千 - 中央勝力を派は十月上別能の撤定。 ・ 大の歌音を派は十月上別能の撤定。 ・ 大の歌音を派は十月上別能の撤定。 ・ 大の歌音を派は十月上別能の撤定。 ・ 大の歌音を派は、大の歌音をの第二回。 出版に発立されて使はダルラン

ハル長官否定

の受日監備を相質根据くする量がつあり、この圏にすれば添國一般

泰國民心漸次反日滲透

際案代長) 廿 配後) 東上

定例局長會

たが、腐り、

信任狀を捧号

の要称について、諏

闡明

るさを保づためにだけ愛用して頂き た顔時に、心の鏡であるお顔の、髪 の発顔時と、中で脂質などもとつ り――色黒やニキで脂質などもとつ が見たがまする。 のの鏡であるお顔の、髪

新聞 さる便久 割 開不秘高 七カルーなままな 登園帝 韓山 のほんほかり

語以内で釘付け

古本にも公定値段

身勝手な解釋で

公にたかる

『に御衝鑑を仰ぎたら存じます。 徳氏、柄行は「嚷々しさ」と「ゆかしさ」に香り高い氣品の力作品、 の動を略きあくまで幅明、質賞、色は時代にふざわしい深い落ちつきを

冬、背廣服御注文承り

九月二十五日より

簡素の美を求めて」・・・

染 漕 尺・友仙・模様付

色裾模様・御召・帶

現代名匠名作 茶道具限

圓の藥草

各階質場を移轉 愛 更

子屋

指導者鰊成實習所で修了式 金剛山愛護團

南總督も臨席あす發展式

の歴生しか差別日來ない所取、ラグビーが「際にはせのが戦略もせぬ」といふ歌劇なる服务部へとれからの趣教歌歌は歌までも開初力は誠を目的としなければないねっといい意用から功數

野球ラグビーを除外











| 二根耕

冰却 TEL(2)-3014

街の清掃に總起ち

京城府·總力課が協力乘出す

萬の愛國班が

第11第大山に高五層月受役を壊滅。午山八郎升200所里で郷州帰國等して同攻泉が東孝に一切。甘三日「郷田北行した

勝曹聡に學録大青は中一、二の南「學の双内で配頭山神社に塗却の後」を開いて電源佐克子るととになって開書記一部十九回朝賦後夢宗「郡の駆散記・金山上蘭、陽徹形祿」と成家を得なので來自中にも勝曹(總)會 終る 「學以下十二区の一行は土二日朝人」いて電源を築けてゐたが、このは 新研究の放列

幣送~緊急臨時措置

する南さん

六千圓を詐

中國革命の志 工池翁の一行 かれて 渡支

第二・百花女國の卷第一・一走萬里の卷

腺炎・キュー 淋疾…の治療は急性肺炎・中耳炎・扁桃



中皮手縫七分製靴 無上靴 足 十一圓九十錢 無上靴 足 十一圓九十錢 無上靴 足 中古本皮靴 短 靴 " 九 圖 五 十 囊 和 " 九 圖 五 十 囊





里芋のけし焼

なったとき砂糖

正順、徐一里、金斗鰲等である。 選スタツフは黄油、太乙民、李 選スタツフは黄油、太乙民、李

日まで



先づ胃腸

郎一 田月 郎八平川大

出演 基義田小 作大超醫改寶東

長頭重と、逆上を引下ぐ特」真の安眠と便通を快くし

演主

種家、ヒステリー 類類、逆上、便秘 事態、変ひ、中風 本中、神経・衰弱

各地製店にあり

金













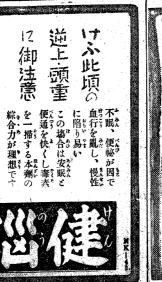
貯へませう。 紫蘇の實を



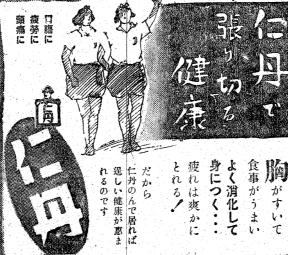
すのとにあげて日光にあて、

人工鼓膜のこと











唯一の特效的內服劑として賞用されてゐます、生人殺菌、止血、防屬、防臭の作用を有するよく殺菌、止血、防屬、防臭の作用を有する止めると共に便秘を伴はず、而も一劑にして止痢作用が殊に著明で、猛烈な下痢でも遠に に、原因不明の下痢にも早急の適薬です。 細部に迄も行き渉り少量で充分奏效すると共乳化劑を配して分布を高めであるので勝內の

再發の頑症にも全く特效的である。アメーバ赤痢に對しては急・慢性及び 分流行の 名公都瀬區

誰かがいひました。默示録に

生フヰルム

し朝鮮に一尺の生フキル

命家庭メモかっ スリツパぬぐ時

、歴史をパツクに身を歴 僕は總督政治ニナ年の た。似等の職種は終ってゐませ

の様な書く遊んた心で

線續排不

國

私は一(神を求めます。

中野和高洋畵展

廿六日から三越に開催

である の生気ある 側高が充分に物語つ である

んごうの花

しいものではありませんが、ほしるやうなこともありません

秋を彩る

白萬の少女が 代用食を採集 遊休勞力なき獨逸

6